

## 平成26年度事業報告

公益財団法人福岡県すこやか健康事業団

第二次安倍政権の発足以来、「アベノミクス」と称した経済政策が推進されてきましたが、その是非を問う第47回衆議院選挙が平成26年12月に举行され、自公連立与党の圧勝で幕が下り、「アベノミクス」が国民から信任を受けた形となりました。

また、17年ぶりとなる消費税の増税が実施され、平成26年度の前半は、個人消費等が落ち込み、実質GDP成長率もマイナスに転じました。

国の健康政策においては、「健康長寿社会の実現」が主要施策として掲げられ、健康寿命の延伸のための施策が進められております。また、データヘルス計画等の推進からも健康・疾病にかかるデータベース等の整備と研究・分析基盤の確立が急務であります。

本法人は、平成26年4月1日に、福岡県より内閣総理大臣認定の公益財団法人へと移行致しました。公益目的事業である健診等の事業のさらなる広域化を図り、より多くの健康データの集積に努めて参ります。

さらには、平成26年9月5日に福岡市中央区のアクロス福岡シンフォニーホールにて「2014年度がん征圧全国大会」を举行致しました。大会当日は、2,404名もの皆様のご参加を賜り、あらためて「がん」に対する関心の高さを認識致しました。今回、全国大会の開催に際し、関係行政機関、関係医師会、関係機関等々のご支援とご協力を賜り、盛会裏に大会運営ができましたことにあらためて感謝申し上げる次第です。

平成26年度は、新たな健康診断システムの全面稼働を行いましたので、今後、より有効かつ有用な健康データの整備を推進して参ります。また、健診事業等においては、県外事業の過渡期となり、一部の事業を実施できなかったため、製造業における特殊健診等が減少すると共に市町村健診事業においても受診率の低下傾向がみられ、特定健診、がん検診においても減少する結果となりました。

平成26年度の事業運営に際しては、関係行政機関、医師会、大学等々のご指導、ご支援のもと円滑な運営が図れましたことに対し、役職員一同深く感謝申し上げますと共に今後ともなお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。